

平成21年度版

# かまくら環境白書



鎌倉市

# 平和都市宣言

われわれは、  
日本国憲法を貫く平和精神に基いて、  
核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、  
全世界の人々と相協力してその実現を期する。  
多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、  
ここに永久に平和都市であることを宣言する。  
昭和33年8月10日

鎌倉市

# 鎌倉市民憲章

制定 昭和48年11月3日

## 前文

鎌倉は、海と山の美しい自然環境とゆたかな歴史的遺産をもつ古都であり、わたくしたち市民のふるさとです。すでに平和都市であることを宣言したわたくしたちは、平和を信条とし、世界の国々との友好に努めるとともに、わたくしたちの鎌倉がその風格を保ち、さらに高度の文化都市として発展することを願い、ここに市民憲章を定めます。

## 本文

- 1 わたくしたちは、お互いの友愛と連帯意識を深め、すすんで市政に参加し、住民自治を確立します。
- 1 わたくしたちは、健康でゆたかな市民生活をより向上させるため、教育・文化・福祉の充実に努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉の歴史的遺産と自然及び生活環境を破壊から守り、責任をもってこれを後世に伝えます。
- 1 わたくしたちは、各地域それぞれの特性を生かし、調和と活力のあるまちづくりに努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉が世界の鎌倉であることを誇りとし、訪れる人々に良識と善意をもって接します。

#### ご 利 用 に 際 し て

1. とくに注意書きがない限り、会計年度間(4月1日から翌年3月31日まで)、平成20年度末日(平成21年3月31日)の状況を表しています。
2. 表の記載において記号は、「-」…該当数値なし、「0」…単位未満、「…」…不詳、「△」…減を表しています。
3. 内訳の数値を0合計したものが総計と合わない、または比率の合計が100%とならない場合がありますが、これは単位未満について端数処理をしたためです。
4. ● のように網かけをしている項目は、平成20年度版から新たに掲載したものを示しています。
5. 「第2章 人の健康の保護と生活環境の保全」の記述に関する詳細なデータは、「平成20年度鎌倉市環境調査データ集」をご参照ください。
6. 本書及び鎌倉市環境調査データ集は、ホームページでもご覧いただけます。(紙資源節約)  
URL <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankyo/>
7. ご意見、ご感想は下記までお寄せください。  
鎌倉市環境部環境政策課  
〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号  
電話 0467-61-3421 FAX 0467-23-8700  
E-mail [kankyo@city.kamakura.kanagawa.jp](mailto:kankyo@city.kamakura.kanagawa.jp)

表紙:レーベンスガルテン山崎自治会エココーナー児童作品から

## かまくら環境白書の発行にあたって

かまくら環境白書は、鎌倉市環境基本計画に示された目標の進行状況を管理するため、主に前年度の実績等を踏まえその結果を公表するもので、今回で14回目の発行となります。

平成18年3月に策定した第2期鎌倉市環境基本計画は、計画期間を平成18年度から27年度までの10年間とし、地球規模での環境問題に対する取組の重要性を認識し、持続可能な社会を構築していくために、すべての人が様々な場所で環境保全に向けた取組を実践することの必要性を加えて15の目標を定めました。

地球温暖化対策は、環境面において特に重要な課題のひとつで、世界各国が積極的に取り組んでいかななくてはなりません。平成20年から京都議定書の第一約束期間が始まり、我が国では平成2年を基準年として平成20年から平成24年までに温室効果ガス排出量を6%削減することを約束しています。

また、平成21年9月に発足した鳩山新政権は、温室効果ガス排出削減に関する2020年（平成32年）までの中期目標について、1990年（平成2年）比で25%削減を目指す方針を表明しました。

本市では、京都議定書目標達成計画をもとに、第2期鎌倉市環境基本計画で市域における温室効果ガス排出量を平成22年度までに、平成15年度に比べ21.9%削減するという指標を掲げています。

この指標を実現するために、鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画において、計画の実効性を高めるために行動プロジェクトを設け、ご意見をいただく中で施策の推進に取り組んでまいりました。平成20年度は、景気の低迷や電力排出源単位が減少したことに加え、市民の皆さんの地球温暖化対策への意識が高まったことなどから、指標である21.9%削減を下回る26.9%削減することができました。

本市としては、今後とも世界の動向や日本の現状を踏まえながら、地球規模での環境負荷低減に一定の役割を果たすべく取り組んでまいります。

平成21年12月

鎌倉市長 松尾 崇